

品川支部

令和二年4月1日発行

〒141-0022

品川区東五反田1-8-5

TEL 3442-7075

4月

天理教品川支部（豊英分教会内） 発行責任者 栗原薫 編集 支部編集部

新型コロナウイルスの感染拡大の早期終息等を祈念し、教会本部神殿でお願いづとめ

新型コロナウイルスの感染拡大の早期終息等を祈念し、3月3日正午教会本部神殿でお願いづとめが行われました。

新型コロナウイルスの感染拡大が世界的に進行しています。



天理教教会本部では、感染拡大の早期終息はもとより、罹患された方々の身上平癒とともに、さまざまな困難に直面している方々の、一日も早い平穏な日常への回復と、社会的・経済的な混乱の収まりを願って、3月3日真柱継承者大亮様を芯に正午、本部神殿でお願いづとめが勤められました。

また、それぞれの教会やようぼく・信者においても、日々のおつとめのなかで同様に祈念してくださいますよう、お願いいたします。

*3月1日本部からのお知らせに基づく

☆支部行事のお知らせ

二十九日全教一斉ひのきしんデー
品川支部は中止(詳細は2頁)

支部例会四月は二十九日のひのきしんデー中止等、諸事情で例会は有りませんが、幹事会は九日のみです

神名流し

当面の間中止いたします

在宅センターひのきしん

当面の間中止いたします

教区ひのきしん

担当は日本橋組ですが中止との事です

☆教務支庁からのお知らせ

・教区創立記念日

一般の会長を含むよぶく信者の参拝は無くなりました。

今回の記念祭は、主事の方等、主だった方のみでおつとめ等おこなわれることになりました。

お陰様で予定通り、屋根の葺き替え、布教の家の建築が終了し、皆様と喜びを分かち合えると計画して居りましたが、時節柄このような形になりました

皆様の協力に感謝いたします

・支部婦人会からのお知らせ

四月十八日のお教祖誕生祭に引き続き十九日には婦人会創立百十周年婦人会総会が催される予定で、パレード等の準備、稽古がされて参りましたが既にご承知の様に、大規模な祭典は行わない決定がなされ、状況によりましては三月の月次祭並みになることが考えられます

今後の事は解り次第にお知らせいたしますので宜しくお願い致します

・天理時報手配り

手配りに関しましては、人との接触が少ないことから、通常の活動と致しますので、下記のスケジュールに合わせたのひのきしんをお願い致します。

・鼓笛バンドコンクール

第四十六回鼓笛バンドコンクールが三月二十一日に板橋区立文化会館で予定されておりましたが、これも諸事情に照らし合わせて中止となりました。何とか夏までには落ち着いて、練習の成果をおちばで披露して頂きたいと願います。

拠点教会	5日号	12日号	19日号	26日号
日本橋	手配り	手配り	直送	手配り
本 荏	手配り	手配り	直送	直送
南 泰	手配り	手配り	直送	直送
三ツ木	手配り	手配り	直送	直送
水豊田	手配り	手配り	直送	手配り

時報手配り 四月予定

全教一斉ひのきしんデー

毎年4月29日（祝日） に行っています海浜公園での 集まっのひのきしんは品川 支部は中止に致します

まだ、教区からの指示は有りませんが、品川支部は幹事会で例年の形のひのきしんは行わない事に致しました。

**代わって、自教会、又は各自の思いのひのきしんを実施して頂き、近くの教会又は担当頂きます水豊田分教会（石田）
(03-3771-5669)**

まで、参加人数等お知らせください。

コロナ感染症に
思う事



南泰分教会長 宮坂義則

現在新型コロナウイルスが全世界で猛威を振るい、学校の休校、イベントの自粛、日用品の不足など、生活の影響を受けていることと思いません。震災や台風等、被害の状況が一目でわかる自然災害ではないので、目に見えにくく危機感も人によってそれぞれです。なにを大げさなと言われる方もおられるかもしれませんが、私はこの事情は震災にも匹敵する大節だと思っています。

私達お道の人間は、どんなことがおころうともその中に神様が私達になにかを伝えようとしていると考え、それはなんであるかを悟る努力をする、これが信仰者の通り方であるとお教え頂いていきます。

それでは今回のこの大節で神様はなにをつたえよう、何を課題として私達にお示し下さっているのでしょうか。ここからは私個人の悟りですが、私は今品薄で問題になっているマスクにそのヒントがあると思いました。テレビでは毎日のようにドラッグストアにならんでマスクを手に入れようと右往左往する人達を報道しています。多分、自分が感染したくない一心で我先に取り合っているのでしょう。他方、専門家はマスクは感染予防にはほとんど役立たないと言っているのも報道されています。ではなぜマスクをするのか？私はここがポイントだと考えました。

感染症の拡大防止には、自分がかからないようにするの勿論大事ですが、自分がかかってしまった時に他の人にうつさないようにすることはもっと大事なことです。しかし中には自分が陽性であることを知りながら出歩く身勝手な人もいたというのは大変残念なことだと思います。この感染症を通じて神様が我々人間におっしゃりたいことは、まず「人の身を考える、人を思いやる」ということではないかと思えました。

また我々天理教をはじめ多くの方々が災害復興に長くボランティアとして携わってはいませんが、まったく関心のない方も多くおられたのも事実です。今この事態は、社会を構成している全員が一丸となって感染防止に努めないと乗り切れないと思います。関心がないで済まされる時ではないと思います。関心がないで済まされる時ではないと思います。一人ひとりが自分がかからないだけでなく他人にうつさないことを考えて行動すること、つまり人を思いやって行動することが大難を乗り切る為に必要なのではないかと考えます。

マスクは本人の感染予防には役に立たないが、本人からの感染拡大防止には絶大な効果があるというのです。つまりマスクは自分がかうつらないためにするのではなく、人にうつさないためにするということです。

